平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号　10 － 38

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	社会教育関係団体活動費補助事業						
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成	
事業の概要	社会教育の推進中核的な組織（文化連盟・子ども会・PTA連合会）に対して補助を行い、地域の活性化を促進する。			全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）			
				事業費	国・道支出金		千円
					地方債		千円
					その他		千円
					一般財源	3,250	千円
					事業費計	3,250	千円
実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　　）				
第 5 期 総 合 計 画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度	B			
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	#	芸術・文化の振興				
	単位施策	2	芸術・文化活動の促進				
	事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務				
	その他計画・根拠等						

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円
	合計	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	会員の減少も見られるが、２０年度1団体新規加盟した。	3団体への補助		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	地域の活性化。	① 文化連盟 子ども会 PTA連合会	目標年度	平成21年度
			目標値	3 団体
			実績値	3 団体
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	地域コミュニティー（地域力）の拡大。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①団体補助	文化連盟３２０千円、子ども会２３０千円、PTA連合会１００千円 （補助団体より実績報告書等の提出を求め、内容を精査し助成している）

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	社会教育関係団体への活動支援は重要であり、団体の活性化につながるとともに、町の活性化を図るためにも必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	児童生徒数の減少に伴い会員数の減少も見られるが、各団体において各種主催事業・発表会や研修会等にも参加しており、自覚と責任も芽生えている。また、文化連盟においては、新規に加盟した部会もあり、期待する効果が得られた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	各団体とも活動するにあたって自主財源の確保が非常に厳しく、助成の削減となれば運営が停滞する恐れがある。

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	実績報告等を勘案して補助交付している。各団体の事業については、広く町民に窓口を広げて，参加促進を進めている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
社会教育関係団体への補助は、地域の活性化が図られ、社会教育を推進する上で、教育面・文化面からも期待できる。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
各種団体の活性化無くして生涯教育の発展は考えられず今後も活動費の補助については、継続していくことが重要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）